

名 前



1

ある学校で、道のりが12kmのマラソン大会が行われた。太郎くんはスタート地点から給水地点までを毎秒3mの速さで走り、給水地点で立ち止まり6分の休憩をとった。その後ゴールまでを毎秒5mの速さで走ると、タイムはちょうど1時間であった。スタート地点から給水地点までにかかった時間と、スタート地点から給水地点までの道のりをそれぞれ求めなさい。

上の問題に対して愛さん、真くんはそれぞれ次のように連立方程式をつくった。

[愛さんがつくった連立方程式]

スタート地点から給水地点までにかかった時間を  $x$  分、給水地点からゴールまでにかかった時間を  $y$  分として、

$$\begin{cases} x + 6 + y = \text{①} \square \\ \text{②} \square = 12000 \end{cases}$$

[真くんがつくった連立方程式]

スタート地点から給水地点までの道のりを  $x$  m、給水地点からゴールまでの道のりを  $y$  m として、

$$\begin{cases} x + y = \text{③} \square \\ \text{④} \square = 60 \end{cases}$$

次の問いに答えなさい。

- (1) ①  $\square$ , ②  $\square$  に入る数または式を答えよ。①( ) ②( )
- (2) ③  $\square$ , ④  $\square$  に入る数または式を答えよ。③( ) ④( )
- (3) 太郎くんがスタート地点から給水地点まで走るのに何分かかったか求めよ。( 分)
- (4) スタート地点から給水地点まで何 m だったか求めよ。( m)